

学習課題(小学校2年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「そうぞうしたことを、音読げきであらわそう『お手紙』」（㊦11～26 ページ）にとり組みます。

(1) 「お手紙」に書いてあることを、たしかめましょう。

※2まいめにたしかめるためのひょうがあります。そのひょうに書いてもいいですし、ノートやとりくみシートにひょうをつくって書いてもいいです。

(2) ふたりは、書いてあることが分かっている手紙を、どうして長い間まっていたと思いますか。ノートやとりくみシートに考えたことを書きましょう。

(3) 音読げきで読みたいところをきめて、ノートやとり組シートに書きうつしましょう。

※このあとの(4)の学しゅうで、よみかたのくふうを書き入れます。うつすときは、一行おきにすきまをあけてうつすと書き入れがしやすくなります。

(4) (3)でうつしたところの音読のしかたを考えて、ノートやとりくみシートに書き入れましょう。

※つぎのことも考えて、書き入れましょう。

【ノートのれい】

- ・だれがしたこと（言ったこと）か。
- ・どのように読むとよいか。
- ・どんなうごきをするよいか。

(4) ノートを見ながら、音読げきをしましょう。おうちの人に見てもらってもよいですね。

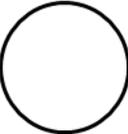
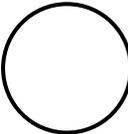
◆あたらしいかん字「紙(12 ページ)」～「何(15 ページ)」まで、ノートやとり組みシートにれんしゅうしましょう。

かえるくん	ふしぎそうに。	「そりや、どういうわけ。」	かえるくんがたずねました。
がまくん	かなしそうに。下をむきながら。	「だって、ぼく、お手紙もらったことないんだもの。」	がまくんが言いました。

〈保護者による関わり方のポイント〉※可能な範囲でお願いします。

・「お手紙」では、音読劇をします。教科書の叙述から二人の気持ちを想像し、声の出し方や動きで表現します。「ふしぎそうに聞こえるには、どう読んだらいいかな。」などと質問することで、声の出し方や動きを工夫しやすくなります。音読劇を見て、工夫されているところを褒めてあげたり、感想を伝えてあげたりしてください。

「お手紙」に書いてあることを、たしかめましょう。名前)

20 ページ 3 行目から 23 ページまで がまくんの家	17 ページ 3 行目から 20 ページ 2 行目まで がまくんの家	15 ページ 4 行目から 17 ページ 2 行目まで かえるくんの家	12 ページから 15 ページ 3 行目まで がまくんの家					
<p>このときのがまくんのきもちをそうぞうして、顔マークで表してみ ましょう。</p> 	<p>がまくんは、手紙の内容を聞いて、どのように答えましたか。</p>	<p>かえるくんはがまくんにどんな手紙を書きましたか。</p>	<p>かえるくんは、かえるくんの話を聞いて、どのように答えましたか。</p>	<p>かえるくんは、だれに何をたのみましたか。</p>	<p>かえるくんは、家へ帰って何をしましたか。</p>	<p>このときのがまくんのきもちをそうぞうして、「顔マークで表してみ ましょう。」 (れい) </p> 	<p>二人は、何をしましたか。</p>	<p>がまくんは、かえるくんに、どんなことを言いましたか。</p>

)